

第23回 北畠サロン・オンライン版 大阪府立住吉高等学校同窓会（阪大住吉会協力）

今年も、阪大住吉会のご協力を得て、北畠サロンをオンラインで開催できる運びとなりました。この講演は、阪大住吉会の会員向けではありますが、特別に、住高生と同窓生も聴講させていただけることになりました。長期化するコロナ禍におきましても、知的刺激で好奇心を活性化していただける場となりましたら幸いです。

配信期間：2022年7月23日（土）－9月16日（金）

第1部講演：「創薬の醍醐味」

講師：大阪大学 大学院薬学研究科 特任教授 春田純一氏（高21期）

受講URL（YouTube）：<https://youtu.be/jDvKpNB720A>



概要：

創薬研究には最先端のサイエンス理論が必要であることは論を待たないが、実際の新薬創製の経験から、実験科学には研究者にしかわからない独自の感性（暗黙知）が大事であり、感性と理論は車の両輪の関係にある。その感性なるものはリベラルアーツと触れあうことによって涵養されると思う。

経歴：

1977年大阪大学大学院薬学研究科修士課程修了後、大阪大学薬学部助手、1989年日本たばこ産業株式会社（JT）医薬総合研究所入社、医薬品研究開発に従事、2009年執行役員 日本たばこ産業株式会社（JT）医薬総合研究所長、2016年から大阪大学大学院薬学研究科特任教授、2022年大阪大学薬友会会長。

第2部講演：「16世紀のグローバルな美術を訪ねて —スペインからメキシコ・アンデス、アジアへ—

講師：大阪大学 大学院人文学研究科 教授 岡田裕成氏（高33期）

受講URL（YouTube）：<https://youtu.be/sGpflR2lu5k>



概要：

私は美術史家として、ルネサンス・バロックのスペインと、スペインが植民地としたアンデスやメキシコ美術について研究してきました。近年では、桃山時代の日本とスペインの間の文化の交渉の問題にも取り組んでいます。この講演では、阪大住吉会の諸先輩方に、自己紹介もかね、研究者としての歩みと仕事の一端をお話ししました。



経歴：

1992年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程中退。福井大学助教授などを経て、現在、大阪大学大学院人文学研究科教授。主な著書に、『ラテンアメリカ 越境する美術』（筑摩書房、木村重信民族芸術学会賞受賞）、『帝国スペイン 交通する美術』（編著、三元社）ほか。2020年、國華賞受賞。

■参加費：無料